

【別紙】

■共同制作商品の詳細



Strata

木本硝子（江戸切子・江戸硝子）・Döppel Studio

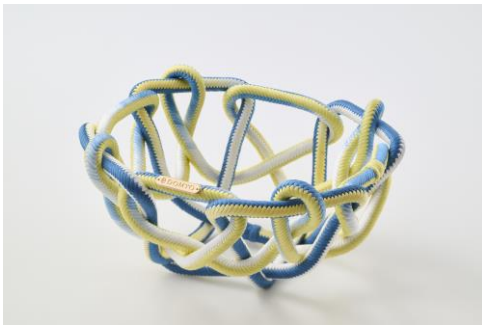
「Strata」シリーズは、日本の棚田の美しさに敬意を表し、日本酒の高貴な要素である「米」を際立たせる立体的な層状のデザインで制作されました。木本硝子の透明なガラスによって引き立てられたこのコレクションは、酒の本質を捉え、デザインに取り入れています。



Layer

建松（江戸組子）・Döppel Studio

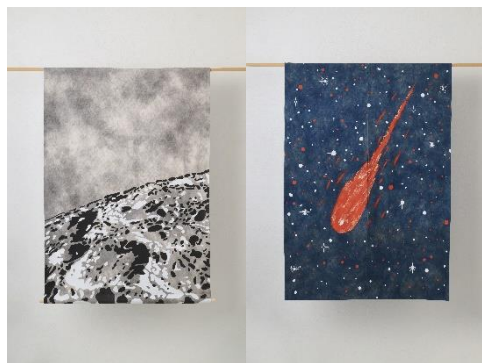
日本の伝統的な組子技術を再解釈した照明シリーズです。それぞれの照明には木のフレームとグリッドがあり、組子の緻密な技術で木片を組み合わせて幾何学模様を作り出し、柔らかな光を拡散します。



HIMO

道明（組紐）・Audrey Bigouin

フルーツバスケット「HIMO」は、組紐の繊細な技術をインテリアデザインに取り入れた商品です。道明の卓越した技術をさらに押し広げており、絹の組紐が空間に広がり、それ自体が主役になるデザインです。このフルーツバスケットは日常に機能的・瞑想的な新しい風を吹き込み、分かち合いとおもてなしの精神を誘います。



Lincos : The cosmic language

中むら（暖簾）・Mathilde Gullaud

中むらの暖簾は、現代社会と日本文化の奥深さを結びつける存在であり、Mathilde Gullaudはこの二つの世界が交差することに触発され、宇宙をテーマにしたデザインを制作しました。一枚の暖簾には、宇宙旅行のように月の断片とそのクレーターが描かれ、天然の顔料と光と影のコントラストで引き立てています。もう一枚には色鮮やかな彗星を表現し、手描きで彩色しています。



YOROI

丸久商店（注染製品）・Mathilde Gullaud

丸久商店が2022年に立ち上げたブランド「TEWSEN」は、衣装とジュエリーの伝統的なコードを融合させた、Mathilde Gullaud との新たなコレクションを発表しました。身につけるアクセサリのように、甲冑、メッシュ、チェーン、護符などのカラフルなモチーフは、日仏の伝統や信念、力、守り、決意のシンボルとして表現されています。



Cotton WA

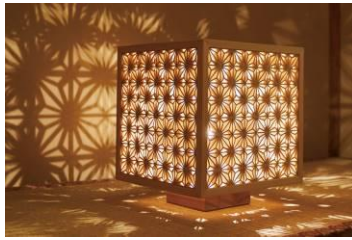
森製綿所（布団・座布団）・Audrey Bigouin

「Cotton WA」は、綿花への敬意を表し、森製綿所が綿100%の布団を職人の手で作り上げる姿勢を称えて制作されました。綿花が五枚の花弁を持つ構造からインスピレーションを得て、花々が調和して一体となり、癒しと喜びに満ちた休息をもたらす「綿の畑」を幾何学的に抽象化してデザインしました。

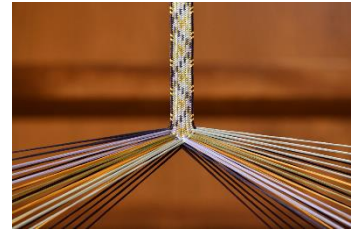
■共同制作参加モデル事業者



木本硝子
(江戸切子・江戸硝子)



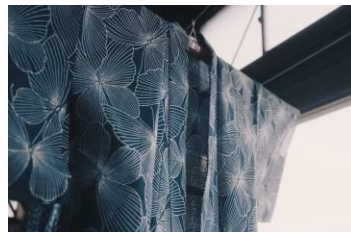
建松
(江戸組子)



道明
(組紐)



中むら
(暖簾)



丸久商店
(注染製品)



森製綿所
(布団・座布団)

■Bureau du Design, de la Mode et des Métiers d'Art (BDMMA) 所属デザイナー



Photo by Marie Yin

Audrey Bigouin

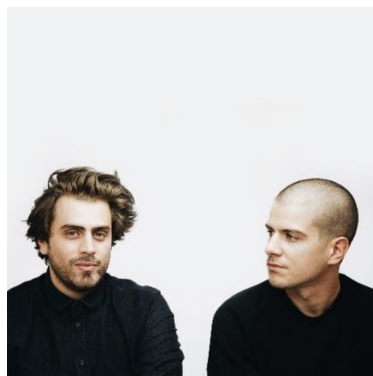


Photo by MAXGONZALES

Döppel Studio

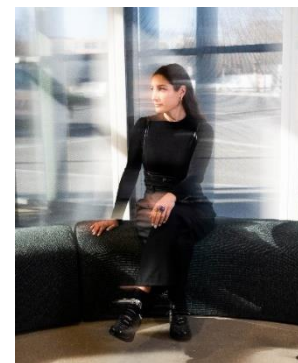


Photo by Ines Sakina Segond-Chemai

Mathilde Gullaud